

喜多方市DX推進実施計画の進捗状況に対する総括

基本方針 1 デジタルを活用した市民サービスの向上

中期目標である(1)行政手続のオンライン化・デジタル化に推進については、着実に進行し、オンラインのサービスはもとより、コンビニ交付やコンビニ収納の件数も、堅調に推移している。目標値に掲げている利用予約がスマホから可能な公共施設の数についても、拡大できるような取組を進めたい。

短期目標である(2)行政情報公開の拡充と情報発信の充実・強化については、情報発信手段の多様化が進んでいる。引き続き、必要な人に必要な情報が届くように努力したい。目標値に掲げているオープンデータの公開件数についても、拡大傾向が継続できるように工夫したい。

基本方針 2 デジタル化による行政運営の効率化

短期目標である(1)業務の効率化とデジタル人材の育成・確保については、会議のオンライン化が著しく、オンライン会議の実施件数が3ヶ月で232回を数え、目標値を大きく上回っている。もう一つの目標値であるDXに関する職員研修回数も6回を数え、職員の意識改革が進み、業務改善が進んでいる裏付けになっている。

短期から中期目標である(2)情報システムの最適化と新しいデジタル技術の導入・活用については、目標値に掲げている情報システムの標準化・共通化が進行しており、ほぼ目標どおりの進捗である。

各所属の業務についても、新たなシステムへの更改業務や、AIをはじめとした最新技術の導入傾向がみられる。

基本方針 3 デジタルの活用による地域社会づくり

短期から中期目標である(1)安全・安心な暮らしをつくるデジタルの活用については、災害情報連携システムによる情報伝達をはじめ、継続・拡大した取組が進められている。特に、目標値に掲げている防犯カメラの設置台数については、近況を反映して設置が進んでいる。また、健康・医療・福祉分野においても、オンライン診療や子どもの運動プログラム作成など、新しい取組が行われている。

中期から長期目標である(2)産業の振興や教育の充実に向けたデジタルの活用については、商工団体との連携やスマート農業の導入などに引き続き取り組み、目標値に掲げている公衆無線LAN整備済施設数も向上させたい。学校教育や生涯学習の分野においては、デジタルの活用が進み、eスポーツの交流大会の開催なども行われた。

共通

デジタルデバйдへの対策については、対面窓口を継続しながら、スマホ教室の開催や地域情報通信基盤による光サービスの提供などを行っている。

情報セキュリティ対策の強化については、3層に分離しているネットワーク毎のセキュリティ対策をはじめ、各種情報システムに対しても対策を講じている。